

がくしゅうかだい（1ねんせい）



【こくご】おうちのひととけいかくをたててがくしゅうをしていきましょう。

<べんきょうすること>

◆きょうかしよ 68～77ページ「おおきな かぶ」をがくしゅうします。

(1)おじいさんのやくになって、げきあそびをやってみます。

68～69 ページに でてくる おじいさんになったつもりで、かんたん な うごきをつけて おんどくしてみましよう。

つぎのばめんで うごきをつけて、よんでみましよう

○68 ページ たねを まいているとき

○69 ページ かぶを めこうとしているとき

※ちょうせんできるひとは、「 」(かぎ)の ことばいがいに、せりふを、つけたしてみましよう。

(2)げきあそびをほかのページでもやってみましよう。

○70～71 ページ

○72～73 ページ2ぎょうめ

○73 ページ3ぎょうめ～74 ページ6ぎょうめ

○74 ページうしろから3ぎょうめ～76 ページ

①やくをきめて、おんどくをします。

②やくにあったうごきをかながえたあと、うごきをつけて よみます。

③ちょうせんできるひとは、「 」(かぎ)のことばいがいに、せりふを つけたしてみましよう。



◆80～81 ページ「『は』『を』『へ』をつかおう」をがくしゅうします。

(1)80 ページをおんどくします。

※とまらずに よむことができるように くりかえしよみましよう。

(2)81 ページのぶんを よみます。よんだあとに、のーとやとりくみしーとにうつつします。

(3)「は」「を」「へ」をつかったぶんをつくって、のーとやとりくみしーとにかきます。

は、 を 。

は、 へ 。

れい わたし は、 は を みがく。

おじいさん は、 えき へ いく。

<保護者による関わり方のポイント>※可能な範囲でお願いします

- ・「おおきなかぶ」の学習では、やくにあったうごきやセリフを考えて読んでいる姿を大いに認めてあげてください。
- ・「は」と「わ」の使い分け等は、文を書く経験を通して身に付けていきます。